

平成27年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生生物のうちハヤブサ調査において、4月に巣内のヒナを確認したものの、5月、6月には幼鳥が確認されなかった。

なお、その他の陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要						
水質	陸域工事 排水の水質	4月9日 5月8日 6月2日 7月2日 8月6日 9月3日	管理目標値内であった。			—			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>調査結果</th> <th>管理目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン濃度</td> <td>6.8～7.2</td> <td>5.0以上9.0以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊物質 量 (日平均値)</td> <td>7mg/L 以下</td> <td>150mg/L 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	調査結果	管理目標値		水素イオン濃度	6.8～7.2	5.0以上9.0以下
項目	調査結果	管理目標値							
水素イオン濃度	6.8～7.2	5.0以上9.0以下							
浮遊物質 量 (日平均値)	7mg/L 以下	150mg/L 以下							
陸生生物	ハヤブサ	4月7, 21日 5月12, 26日 6月9, 23日	4月に鼻線島において、雌の親鳥がヒナに給餌行動しているのを確認したものの、5月、6月には幼鳥が確認されなかった。なお、親鳥は各月で確認した。			写真 1			
	植生	5月12, 13日 7月15, 16日	イヨカズラを8箇所 計22株、ジュウニヒトエを44箇所 計288株、イヌノフグリを5箇所 計55株、ギンランを1箇所 計1株、キンランを2箇所 計2株、ビヤクシンを1箇所 計1株確認した。			写真 2			
海生生物	潮間帯生物	4月21, 22日	植物ではフクロノリ、イワノカワ科など49種、動物ではイボニシ、クロフジツボなど38種を確認した。			写真 3			
	海藻草類	4月21, 22日	クロメ、マクサなど51種を確認した。						
	底生生物	4月21, 22日	サザエやムラサキウニなど4種を確認した。						
	スナメリ	4月～9月 (週1回・計24日)	確認回数は計30回、頭数は延べ67頭を確認した。			—			
	カクメイ科等の貝類	5月20～22日 8月10～12日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール※ 2箇所のうち 1箇所で開催した。			—			

※ タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】その他の環境調査結果

○カラスバト

5月に計画地点の改変区域外において、鳴声を確認した。

なお、鼻線島において5月に鳴声および姿を確認。8月に鳴声を確認。9月に姿を確認した。

○カンムリウミスズメ

4月に延べ3個体(鼻線島の南、祝島の北東)、5月に延べ1個体(祝島の北東)、7月に延べ5個体(祝島の北東、祝島の東)を確認した(写真4)。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ(4月7日)



ヒナ

雌の親鳥がヒナへ給餌

写真2: 植 生(5月12, 13日)



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



イヌノフグリ



ギンラン



キンラン



ビャクシン

写真3:海生生物(4月21, 22日)



フクロノリ



イボニシ



クロメ



サザエ

写真4:カンムリウミスズメ



(4月14日 祝島の北東)